

西胆振地域における病床機能再編事業計画書

(地域医療構想の達成に必要な病床の削減等について)

開設者名	室蘭市																																										
医療機関名	市立室蘭総合病院																																										
地域の状況 〔 圏域における役割等 〕	室蘭市を含む西胆振圏域の人口は、今後も減少が見込まれる一方、当面は後期高齢者の割合が高く、高齢者に多い疾患や救急医療などに対する医療需要については大きな減少はないことから、当院では、今後も地域において、高エネルギー外傷の受入や、がん、結核、災害医療等公的病院が担う政策医療や感染症等の対応を行いながら、急性期医療を安定的かつ継続的に提供していく。																																										
計画完了日までの病床減少又は統合の変遷	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>高度急性期 a</th> <th>急性期 b</th> <th>回復期 c</th> <th>慢性期 d</th> <th>休棟等 e</th> <th>合計 a~e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和3年度病床機能報告 ア</td> <td>16</td> <td>337</td> <td>48</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>401</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月1日時点 イ</td> <td>16</td> <td>337</td> <td>48</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>401</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月16日時点 〔計画完了日〕 ウ</td> <td>16</td> <td>315</td> <td>48</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>379</td> </tr> <tr> <td>病床数増減 ウ-イ</td> <td>0</td> <td>▲ 22</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>▲ 22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 3区分=高度急性期、急性期、慢性期</p>	区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e	許可病床数							令和3年度病床機能報告 ア	16	337	48	0	0	401	令和4年4月1日時点 イ	16	337	48	0	0	401	令和4年12月16日時点 〔計画完了日〕 ウ	16	315	48	0	0	379	病床数増減 ウ-イ	0	▲ 22	0	0	0	▲ 22
区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e																																					
許可病床数																																											
令和3年度病床機能報告 ア	16	337	48	0	0	401																																					
令和4年4月1日時点 イ	16	337	48	0	0	401																																					
令和4年12月16日時点 〔計画完了日〕 ウ	16	315	48	0	0	379																																					
病床数増減 ウ-イ	0	▲ 22	0	0	0	▲ 22																																					
削減又は統合のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ H20年 6月 当院南病棟 1 階に外来化学療法室を設置 ・ R 2年 2月 新型コロナウイルス感染症患者の受入の増大に伴い、既存の外来化学療法室を休床していた西病棟 5 階に移設 ・ R 4年 9月 病棟再編により、西病棟 4 階を休床とし、外来化学療法室を西病棟 5 階から西病棟 4 階へ移設 ・ R 4年12月 「室蘭市病院事業の設置等に関する条例」の一部改正を行い、西病棟 4 階の外来化学療法室専用室として用いる 22床 を廃止する。 (一般病床の許可病床は 401床 → 379床 となる。) 																																										
本計画が地域医療構想の達成に資すると考えられる理由 〔 病床削減等により圏域における役割、他医療機関との機能分担・連携のあり方等 〕	<p>当院では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、南病棟 1 階を感染症病棟としたことに伴い、感染症病棟と同一フロアに設けていた外来化学療法室を一般病床病棟に移していたが、別棟の感染症病棟活用については感染拡大に対して有効な手段であり、今後もこういった感染症対応は継続する必要がある。</p> <p>また、国が策定した「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」等において新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組として、院内感染対策の徹底、感染拡大時における連携のほか、感染拡大時に活用しやすい病床等の整備が求められており、今後も当院南病棟の一部を感染症対策に活用する病床として確保していくことから、当院西病棟 4 階に移設した外来化学療法室に用いる一般床を廃止するものである。</p>																																										